

事業概略書

事業名	新型コロナウイルス感染症罹患後に精神症状が出現した者に関する実態調査
事業目的	<p>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）罹患後には気持ちの落ち込み（抑うつ気分）や不安といった慢性的な心理的変調が生じることが海外で報告されている。しかし、国内において COVID-19 罹患後の抑うつ気分や意欲低下、不安、睡眠障害、幻覚妄想状態といった心理的な変調に対する知見は十分ではない。</p> <p>本研究は新型コロナウイルスに感染した者においてどのような精神症状が出現したのか、その実態を把握することを目的とする。</p>
事業概要	<p>新型コロナウイルスに感染し、宿泊施設療養になった者と医療施設に入院になった者を対象に、精神保健福祉センターが作った個票、病院診療録、診断群分類に基づく 1 日当たり定額報酬算定制度のデータ (DPC) をもとに集計解析を行なった。</p>
事業実施結果及び効果	<p>COVID-19 罹患者のうち高齢者や身体併存疾患を有する者で精神症状が出現しやすいことが示唆された。精神症状は不眠が 29%と最も多く、精神科診断では、せん妄が 45%と最も多かった。宿泊療養施設の相談者では、約 6 割が「不安」を主たる相談内容としており、精神科医療機関への緊急受診が必要となった者は 0 名であった。</p> <p>特に高齢者や身体疾患を有する COVID-19 罹患者において精神症状の発生リスクが高いことから、これらの患者に対しては早期に精神症状の発生を把握し、迅速に精神医学的な介入ができる医療体制の構築が必要である。宿泊療養者における不安の多くは感染による体調や環境の変化に伴う了解可能な心理的反応と考えられ、心理専門職による支援システムの構築が必要であることが本研究から言えるだろう。</p>
事業主体	<p>郵便番号：819-0395</p> <p>所在地：福岡県福岡市西区元岡 744</p> <p>法人名：国立大学法人 九州大学</p> <p>電話番号/E-MAIL：092-642-6780/ijksenyaku@jimu.kyushu-u.ac.jp</p>

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するため、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
- 2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。
- 3 「事業目的」、「事業概要」、「事業実施結果及び効果」について、それぞれ 250 字程度で簡潔に記入すること。